教育かわら版
こんにちは教育委員会です
ふたたび

No.１８８
２０２３（令和５）年６月２１日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦



「明日からは半袖だなあ」
役場の駐車場に車から降りて思わず感じた朝でした。運動会シーズンも終わり、爽やかな初夏の風が吹いています。
中学校の体育祭は見ることができなかったのですが、参観者からはとっても良い雰囲気でしたよとお聞きしていました。
小学校の運動会を見て、すごくうれしかったのは、誰一人として、子どもたちがふてくされたようにゴールした姿を目にしなかったことです。勝敗にこだわっていないとかではありません。みな最後まで走りきっていました。それでも、負けた子も良い笑顔だったのは、きっと普段からいろいろな場面で先生方、大人に認められているからなのだろうな、と。そう思っていました。
１６日（金）には今金高等養護学校の体育祭も見ることができました。今金町出身の子を見て、来賓席からは「大きくなったねえ」という声。教え子もいました。ほんとそうですね。高等養護の子たちも誰一人として途中で投げ出したり、不満そうにしたりする子が一人もいませんでした。きびきび動く先生たちもゆったりとした気持ちで見守っている様子が伝わってきます。天気も今までで一番穏やかでした。良い週末を迎えられるな。そんな気持ちで役場に戻りました。

教育委員リレーエッセイ

『　感謝を込めて　』

今金町教育委員　　村　瀬　一　人

農業者となって毎年、一年で一番気を揉む、気を張る春作業。
毎日、天気とにらめっこ。今年は、ありがたい事にお日様と仲良く付き合え、順調に播種作業を行う事ができました。天候に恵まれましたが、自分の納得いく出来とは遠く、そこが農業の難しさ、面白さ、農業の醍醐味なのかもしれません。
五月、全面コンクリートの寂しさ漂う、旧今金中学校がカラフルに変身しました。新校舎落成記念として、実行委員会の皆さんが企画され、みんなで描くウォールアート事業が行われました。ピカソを彷彿させるセンス溢れるアート。たくさんの感謝の言葉。私も青春時代を過ごした旧校舎。楽しかった思い出や苦い思い出。解体されるのは悲しいですが、最後にたくさんの人が訪れ、感謝の気持ちや希望を込め華やかに彩られペイントされた校舎。
良かったね・・　「ありがとう今中」



